

第77回日本ハンドボール選手権大会 中国地区大会
男子第70回・女子第53回中国一般ハンドボール選手権大会

競技上の注意

日本選手権中国地区大会について、女子はデレフォーレ岡山が、先のジャパンオープン優勝により日本選手権の出場権を獲得している。よって、中国地区大会への参加は山口銀行 YMGUTS のみとなるため試合は実施しない。山口銀行 YMGUTS を中国ブロック女子代表として推薦する。

1 代表者会議

実施しない。関係文書は参加チームにメールにて送付。大会当日、体育館到着時に大会本部に押印した参加申込書を提出すること。その際、大会プログラムで、変更等を確認すること。

2 競技規則及びチーム構成

① 当大会は、2025 年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則によって実施する。なお、「2025競技規則変更(2025年7月1日 IHF施行)について」(2025年6月1日 日本ハンドボール協会通知)は採用する。

② 試合毎の参加人数は、以下の通りである。

大会名	チーム役員	選手	選手登録	備考
日本選手権中国予選	4名以内	16名以内	20名以内	役員と選手を兼ねる場合には、両方に登録すること
中国一般		16名以内	20名以内	

3 競技会場、コート大きさ

J:COM アリーナ下関 A・Bコート(40m×20m)

4 競技方法及び競技時間

	競技方法	競技時間(延長戦)	摘要
日本選手権 中国一般	トーナメント	30分—10分—30分(第1延長・第2延長・7mTC) 25分—10分—25分(第1延長・7mTC) *7mTCは5人制とする	3位決定戦は実施しない

5 競技時間・退場(失格)者の表示および終了・チームタイムアウトの合図等

競技時間の表示	電光公示時計(加算)
退場(失格)者の表示	電光公示時計(減算)
終了の合図	ブザー
チームタイムアウトの合図	(電子)ホイッスル
負傷者カード	ジャッジズテーブルでの掲示

※ 退場者の入場については、チームの責任でおこなうこと。

6 大会試合球:(公財)日本ハンドボール協会検定球のモルテン社製を使用する。

7 チーム役員・選手の確認・変更・追加

受付時に今大会プログラムにてチーム役員・選手等を確認すること。チーム役員・選手の変更・追加がある場合、大会前日 13 時までメールにて受け付ける(大会要項9・15参照のこと)。ただし、選手の番号の変更は認めない。

試合前のトスの際にメンバー表を提出すること。チーム役員の記号はチーム責任者を「A」、他の役員をプログラム順に「B・C・D」とする。なお、チーム役員以外のドクター・トレーナーについては、メンバー表の最下部に氏名を記入すること(競技中は交代地域の外側に設置した椅子に着席し競技に影響を与えてはならない)。※ 新規・移籍のメンバーは、必ず登録を完了しておくこと。

8 トスの実施,メンバー表の提出,ユニフォームの確認およびチーム役員・選手登録証の提出

- ① トスの実施・ユニフォームの確認は、競技がおこなわれるコートのオフィシャル席前で、前試合がない場合は競技開始30分前、前試合がある場合は前の試合のハーフタイム時に行う。その際、チーム代表者はGKとCPの全ての種類のユニフォーム(濃淡・番号が明瞭に識別できるもの)を持参すること。調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更すること。なお、チーム役員は、スポーツウェアか平服を着用する。着用する服は相手チームのコートプレーヤーと、はっきり区別できる色であること。
- ② 服装や装具については、2025 年競技規則 改訂版「服装や保護を目的とした装具に関する規定」に準ずる。
- ③ チーム代表者は、メンバー表、2025 年度チーム役員・選手登録証をTOに提出すること。

9 メンバー・公式記録用紙の確認,チーム役員用カードの着用

- ① 受付時に確認したチーム役員・選手だけが公式記録用紙に記載され、競技に参加することができる。チーム役員以外のトレーナー等については、交代地域外に設置された椅子に着席する。
- ② 試合開始10分前までにチーム責任者は、チーム役員の氏名・記号および選手の氏名・番号が公式記録用紙に正しく記載されていること、および、自チームのすべてのプレーヤーが、正しい服装や装具を身に着けていることを確認し、サインすること。
- ③ チーム役員は、オフィシャル席に用意してある「チーム役員用カード」を着用(公式記録用紙に記載された記号と同一)すること。なお、「チーム役員用カード」は試合終了後に返却すること。

10 両面テープ・松ヤニ・松ヤニスプレー等使用の可否

- ① 当大会は両面テープのみ使用可とする。
- ② 松ヤニ、松ヤニスプレー、滑り止め用クリーム、樹脂等の使用は厳禁とする。

11 更衣,練習会場,二足制の遵守

- ① ユニフォームを着替える時は、更衣室を利用すること。

- ② 屋外でウォーミングアップをする際は、屋外用シューズに履き替えること。屋内・外兼用は厳禁とする。また、体育館周辺および駐車場でのボールの使用は厳禁とする。

次の試合のチームに限り、コート横のスペースでアップをすることを認める。ただし、ボールの使用は厳禁であり、そこで走ったりすると試合を行っているチームに迷惑がかかるため、ストレッチ程度に留めること。

- ③ 体育館の開館時間については、両日とも8時00分とする。

12 コート練習および競技フロアへの入場

- ① コートでの練習は、第1試合のチームは試合前、第2試合以降のチームは前の試合のハーフタイム時および試合間とする。なお、コートでの練習は土や松ヤニ等の付着していない屋内用のボールを使用し、屋外用のボールの持ち込み・使用は禁止とする。

- ② 第2試合以降のチームの競技フロアへの入場は、前試合の前半ならびに試合終了5分前以降とする。

13 交代地域での飲料水の補給

ストローつきまたは完全にフタのできる飲み口の細い容器を使用し、シートやフロアを濡らすことのないよう注意すること。また、可能な限り共用しないこと。

14 テクニカルオフィシャル(TO), 裁定委員会

- ① 当大会では、円滑な競技運営のためにテクニカルオフィシャルをおく。
- ② 当大会の競技の健全化を図り、失格(3回目の退場による場合は除く)の判定とともにブルーカードが示された場合、また、試合中以外でも悪質なマナー違反や禁止事項が遵守できないなど、裁定委員会の開催が必要であると競技委員長、審判長などが判断した場合には、裁定委員会を開催する。
- ③ 裁定委員会の委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長とし、必要に応じて当該のテクニカルオフィシャル・審判員・チーム役員等の関係者を同席させる。

15 その他

(公財)日本ハンドボール協会HP「2025年競技規則 改訂版」を参照のこと。
参加チームならびにレフェリーの状況により、同県レフェリーが担当することもある。

※ ゴミは各チームで持ち帰ること。